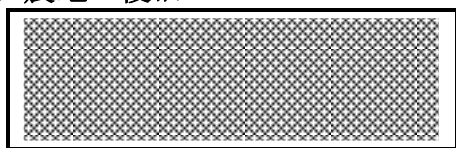


「オレンジホームファーマー事業」の仕組み

① 農地の復旧

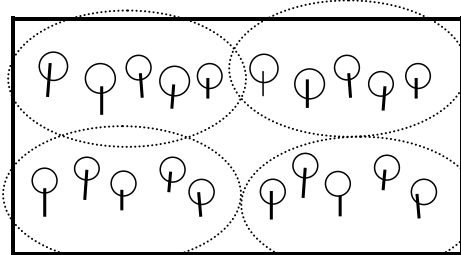


県が農地を借受けて木の伐採・抜根、草刈り、整地等の整備を行います。



② 体験研修果樹園（3年間）

【県が農地を借受けて研修農園開設】



県が研修果樹園を開設し、果樹の栽培研修を行いながら、生産性のある果樹園に復元します。

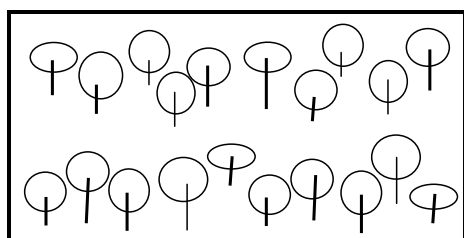
研修生は、各自10本程度の柑橘の苗木を研修を受けながら栽培管理します。

基礎技術研修を受けながら苗木を育てる。



③ ホームファーマー果樹園（4年目以降）

【農地所有者による開設】



地権者が県から果樹園を引き継ぎ果樹栽培体験農園を運営する。

利用者は地権者と農園の利用について協定等を結び、引き続き果樹園での栽培体験を行う。